

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2021年7月10日発行 第97号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>



2021年度

コロナ禍でも事業を止めず計画した事業を実施した2020年度
コロナによって文化の格差をつくらない！
未来につづく子どもの笑顔のために



子ども劇場千葉県センターの2020年度は、コロナ禍での長期にわたる自粛が、子どもの心身の成長発達に及ぼす影響について、強い危惧と危機感を抱き続けた一年でした。活動を中止する方向ではなく、様々な知恵と工夫で、子どもの遊び、人と人との触れ合いを大事にした活動を保障していこうという考え方の基、子どもの権利条約の視点でミッション実現・目標達成を目指し、計画したすべての事業を実施しました。

特に子どもへの芸術的アプローチは、表現する心地よさに心が開放され、まさに笑顔と元気を取り戻しました。「学校への芸術家派遣事業」80校、QOL向上のために病院、県内すべての児童相談所や児童福祉施設18か所、さらに新規事業として乳幼児親子の子育て支援事業を、市町村行政との連携で25か所へと広げました。専門性をもったコーディネーターが、関係機関・者を丁寧になぐことで当団体への信頼が生まれ、芸術的アプローチの有効性が高いとの気づきを得て、公益性のある文化活動の事業展開にまい進しました。

また、オンラインツールを積極的に導入し、通常の会議の他にも、人と人とのつながりを絶やさないチャレンジをしました。リアルとリモートで91人参加した「赤ちゃんの力でみんなが笑顔に！」成果報告会は、0歳〜2歳までの子育て支援の提言も含めた社会発信となり、様々な分野の方と共感のネットワークが生まれ、社会的意識を変えて今年度の事業に生かされます。

「チャイルドライン千葉」「ママパパラインちば」では、このコロナ禍で拍車をかけた孤立感や疎外感を訴える声が届き、人の話を共感的に聴くことが、ますます求められました。多くのボランティアに支えられての傾聴のライン開設が、コロナ禍においても社会の課題解決機関のひとつとなっています。

7月、スポーツと文化を融合した人間の祭典オリピック・パラリンピックを迎えます。コロナ禍でのマスク生活、三密を避ける生活様式は続き、大人や周りを気遣い我慢する毎日、大人の目に見えないところで子どもたちの心を蝕みます。高校生の3割(小学生の15%、中学生の24%)に気分の落ち込みやうつ症状がみられるデータがあります。(国立成育医療研究センター調べ2021.6)自己肯定感が低いと、自己否定感につながり「どうせ自分は…」とネガティブな気持ちになっていきます。

自己否定感ではなく、もつと自分を好きになるためには多くの人と出会い、「共感による安堵感」という体験が不可欠です。大人がやるべきことは、当事者である子どもの声に耳を傾け、子どもが声を出しやすい機会を用意し、子どもアドボカシーの仕組みをつくることです。

子ども劇場千葉県センターの2021年度の活動も、コロナによって文化の格差をつくらないよう、子どもを真ん中にした取り組みや社会発信をもつと広げ、子どもを取り巻く文化・芸術、社会参画等多面的・複眼的に環境を整えられるよう、事業をすすめて参ります。(理事長…宇野京子)

2021年度(第24年度) 通常総会終了

日にち：2021年6月18日(金)
時間：14時00分～15時55分
場所：千葉市民会館特別会議室
出席者：正会員45名中45名出席(うち委任・書面表決12名)
すべての議案が全会一致で承認されました。
■2年間の事業の重点課題として、全ての事業に、子どもの権利条約の理念と子ども観を入れ込んでいくことが確認されています。

2021年度の事業計画

●文化芸術を活用し、子ども自身の自己肯定感・非認知能力を獲得する活動

①文化庁受託令和2年度文化芸術による子供育成総合事業

●子どもゆめ基金助成事業

②タケタ・ウェルビーイング・プログラム助成事業

③赤い羽根共同募金助成

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

①社会福祉振興助成事業(WAM)

②子どもや養育者に寄り添い「傾聴」による当事者を支える活動

●ネットワーク事業

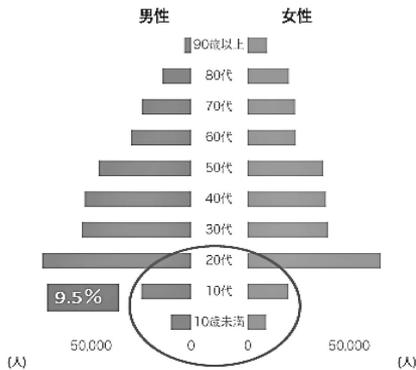
①チャイルドライン千葉

②ママパパラインちば

③子ども系NPO、行政、個人、こども人権ネットちばとの連携

性別・年代別陽性者数（累積）

情報更新日(週次)：2021年05月11日



千葉県小児科医会の会長、一開業医の小児科医です。日々子どもたちと接していて、特にこの1年間、いろんな経験をさせていただきました。今日私に与えられたテーマは、「子どもたちのために伝えたいこと」ということですが、お話しする内容は、もうすでに皆様がよくご存知のことだと思います。もし皆さんと共感、共有できることがありましたらありがたいと思います。



2021年度通常総会関連企画講演会
クリニックの現場から
コロナ禍の今、子どもたちの健やかな育ちのために伝えたいこと
 講師 佐藤好範氏
 千葉県小児科医会会長
 さとう小児科医院院長
 (講演内容抜粋)

2021.6.18(金)
 千葉市民会館
 参加者 78名
 会場 32名
 ZOOM 46名

小児の新型コロナウイルス感染症の現状

性別・年代別陽性者数を見ると、10代の方が6.6%、2.9%が10歳未満で感染者の9.5%、約1割の方が20歳未満であるといった数値が出ています。小児の新型コロナウイルス感染症は、ほとんど無症状や軽症であり、ごく稀に重症化することもあります。日本では死亡例はありません。やはり子ども

のCOVID-19患者さんの大部分は、成人患者からの感染で、インフルエンザと比べますと本当に少ない子どもの感染流行です。子どもの感染は、ほとんど家庭で起こっているということですよ。

過度な日常生活の制限が子どもの権利を奪う

こういう中で子どもたちは1年半暮らしてきているわけです。大きな影響をたくさん受けています。一斉休校がありました。そのために友だちと遊べないとか、大きい子では部活の停止、修学旅行、入学、卒業式も中止といった経験をたくさん受けています。さらに子どもたちの成長に関係するものとして学業の遅れ、あるいは体力の低下ということがあります。過度な日常生活の制限は、子どもの遊びや学ぶ権利を奪っています。コロナウイルス感染症によって味覚障害であるとか、あるいは慢性的な頭痛だとか、後遺症を持っている方が、たくさんいると言われていますが、

無症状で済んだ子どもたち、あるいはかかってない子どもたちにとっても、こういった生活を強いられたことによる後遺症というものがあると思います。子どもたちの成長に大きな影響を及ぼすのではないかと、ということをお懸念しております。

非日常にある子どもたちはどうしたらいい?

当然ながらこういった中に行けば、いつもと違う行動や反応が見られても不思議ではないわけです。そこで起こってくるのはストレス反応と呼ばれるもので、頭が痛い、眠れない、お腹が痛いといったようないわゆる不定愁訴が増えていきます。こういったものは全て実は自分を守るための心の防衛機能なんです。ただし、これは放っておくと、どんどん悪くなる子も出てきます。

大人はこの子どもたちにどういうことをすればいいのでしょうか。まず伝え方です。子どもたちの年齢によって理解力も違いますし、言葉に対する感じ方も変わります。その年齢に合った言葉で、ごまかさずに正直に話し状況を教えてあげることです。ウイルスにかかってしまうのは誰かのせいではないのです。ただ一応感染防止はしましょう。でも100%ではありません。ですから、その人が何かを怠ったから、悪いことしたからウイルスにかかったのではないので、このことを子どもたちには伝えていきたいです。

こういった時に、一番大事なのは日常を維持するということです。学校がある時と同じように早寝早起き朝ごはん、生活リズムを作るためには、色々な約束をしますが、約束を守れたらたくさんほめてあげる。子どもの気持ちを否定しないで吸い上げて、それを繰り返していくと、子どもたちは、自分の生活リズムを整えていくことができると思います。

次に大事なことは、実は遊ぶことなのです。子どもは遊びからいろんなものを学んでいきます。成長の過程にもなりますし、いろんなストレス、そういったものからも保護されます。子どもたちはお母さん、お父さんとの関係を遊びを通して、自分が愛され守られているという実感を持っていくんだらうと思います。

大人も疲れています。大人のセルフケアも必要です。デイスカッションしたり、相談をしたりする時間と仲間が減っていると思います。ぜひ子育て中のお母さん方にも人と人がつながる、こういった機会がどんどん増えるといいと思います。

心配事、お悩み事は、一人で抱え込まないで

院内感染を心配して、ワクチンとか予防接種、あるいは乳児検診とか、病院に行くことを控える傾向があります。できるだけ躊躇しないで受診したいと思いますが、熱が出たとか、下痢をしたとか、吐いたとかというようない病状だけではなくて、何となく体調がすぐれないとか、食欲がない、だるい、頭痛とか腹痛といったある意味ではグレーゾーンな病状の時も、躊躇せず病院に行ってください。できるだけ相談に乗りたいと思っています。

(文責：棚田)



「千葉県赤い羽根共同募金」令和3年度も助成決定！



千葉県共同募金会が、県民の皆さまから寄せられた赤い羽根共同募金への寄付金で、地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進し、地域福祉のために活動する福祉団体やボランティア団体、社会福祉施設等を支援するための助成です。子ども劇場千葉県センターは、3事業が【使途選択助成 テーマ②子育て、子どもに対する支援のための事業】に選ばれました。頂いた助成金の重みに感謝し、有効に活用し最大の効果を得るよう用いて参ります。

18歳までならだれでもOK
うれしいこともないことも、なんでもはなしていんだよ！

チャイルドライン千葉

0120-99-7777

通話無料(携帯・スマホもOK) オンライン相談は
まいにち 24時～29時 こちらから

主催：NPO法人 子ども劇場千葉県センター
後援：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会

このカードは赤い羽根共同募金の助成によりつくられています。

あなたをひとりにはしない・させない！「ママパパライン」

「ママパパラインちば」

子どもをもつママ・パパ・家庭の育ての悩みや不安な気持ちを電話でお話
きます。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなし
ください。電話だからこぞ何でも言える。気軽にダイヤルを！

043-204-9390

毎週金曜日 10:00～16:00
キャンペーン:2022年2月14日(月)～2月19日(土)
6日間毎日 10:00～16:00

日常生活の中に子ども・パートナーの気持ちを尊重して聴く習慣を！ 傾聴の姿勢はいい関係づくりを築く

事業名：「チャイルドライン千葉」のアドカードとポスターで児童・生徒に知らせる

アドカードを県内 54 市町村教育委員会と千葉県教育委員会と
おして県内全中学生へ1 4 万枚、小学生やフリースクールの児童
生徒へ 36,000 枚配布。ポスターを全中学校 374 校、全公立高校 121
校、一部小学校へ1 枚ずつ掲示を依頼する

<子どもたちの声>※プライバシーに配慮し再構成しています。

- * 部活の先輩からいじめを受けている。1年以上続いている。無視される方がまだいい、かまわれて暴力もある。
- * 将来に対する不安で、自分の心が分からなくなった。親の期待に応えたい。もっと頑張りたい。逃げてはいけないと思うが逃げだしたい気持ちでいっぱい。
- * 人とうまくやれない自分がイヤ。人のことを気にしない自分になりたい。劣等感を抱えて生きている。
- * 最近、死にたいとか消えたいとか思う。前回のテストの成績が悪くて親に怒られた。
- * 家族全員がお父さんに暴力を振るわれている。コロナもあるから色々つらい。
- * 障害のある妹の世話を母から頼まれている。コロナになってからさびしいのか私に甘えてくるのが多くなった。母はあまり真剣にきいてくれない。

コロナ禍での厳しい状況が続く中、子どもたちの、行き場のない心の叫びとも思える声が届きます。子どもたちの最善の利益をめざし、ホッと安心できる心の居場所となるよう、子どもたちに寄り添っていきます。

事業名：「ママパパラインちば」のアドカードを当事者に届ける

アドカードを千葉県内全小学校の低学年の家庭に7万枚、市町村子育て支援課及び地域包括支援センターに6万枚を一人でも多くの養育者に配布し、民間が開設し気軽にかけられる「ママパパラインちば」の情報を届ける。

<ママやパパの声>※プライバシーに配慮し再構成しています。

- * 発達障害のグレーゾーンと言われる今後の子育てをどのようにしたら良いか
- * 母子手帳の項目にできないことがある。「いいえ」がつくことで気が重い。
- * 子どもを最優先にして自分を犠牲にしてきた。頑張りすぎたかな。
- * 何となくモヤモヤして。子どもはかわいいけど負担に感じる。
- * 夫とのコミュニケーションが取れていない。夫に本音を言ったが無視され、理解していないみたいで疲れる。
- * コロナでブルーなきもちが続いている。気持ちを押し殺しているで疲れる。
- * シングルマザーの道は決して楽ではなく、孤独の中で迷いや苦しみを感じている。話を聴いてくれる人がいない。

「話をする」ことは自分の気持ちを手放すこと、「離す」という意味もあります。かけ手は話しをしながら、自分の気持ちに気づき、ため込んでいた気持ちを手放すことができます。ママパパラインは、ママたちの味方であり続けたいと、謙虚に電話の声をお聴きしています。

事業名：0.1.2.3歳児が出会うはじめてのおしばい

0歳から3歳までの乳幼児期は、人とふれ合い、愛着形成や非認知能力が育まれる大切な時期です。外部社会からの支援として、乳児院3か所に、子どもたちが笑顔になるプロによるワークやふれあいあそびを届けます。子どもの笑顔は社会の宝です。

7月21日(水)	コミュニティ長柄	大沢愛さん わらべうた
9月7日(火)	乳児院エンジェルホーム	安西真幸さん ダンス
9月28日(火)	聖愛乳児園	川中美樹さん わらべうた



子どもの意見表明の権利の尊重を！

全国的なネットワークで多彩な取り組みを展開



「広げよう！」 子どもの権利条約 キャンペーン

子どもがひとりの尊厳をもった人として権利があること、それを保障するのはおとな、社会の責任であるという認識が重要です

権利実現の日本の課題・背景

- ①昨今は、社会・経済環境の厳しさが注目され「子どもの貧困」が大きな社会課題
- ②子どもの自己肯定感について
自分自身に満足していると回答した15歳～25歳は、アメリカ86%。イギリス83.1%に対し日本は45,8%（出展：内閣府）で、権利の基礎となる子どもの自己肯定感が低い。
- ③18歳選挙権(2016年度より実施)や18歳成人(2022年度より実施)などを受けて、子どもが意見を表明する機会の必要性も高まっている。

2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の宣言文

SDGsが目指す世界は、「子どもたちに投資し、すべての子どもが暴力や搾取から解放される世界」とされている。「誰も取り残さない」という精神のもと、17の目標と169のターゲットが設定され、様々な子どもの課題が含まれています。「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」でも、このSDGsの達成への貢献を図っています。

「子ども基本法」をつくろう 子ども庁の創設 のうごき

子どもの権利を守る総合的な法律を創ろうとする動きや、子どもの支援を専門的に担当する新たな国の役所も具体化しようとしています。法律や仕組みを創るにあたっては、子どもの意見をしっかりと聴くことが大切です。

■子ども基本法について、国会議員や国に届ける院内集会在開催され(4/22)、小学生から高校生まで5人の子どもたちが発言しました。

子どもも大人も子どもの権利条約について知らない。日々の生活の中で活かされるようにしたい/母子手帳に子どもの権利条約を掲載するように区に提案して実現させた/子どもの声を聞いて一緒に行動してほしい/子どもも話し合いのテーブルにつかせてほしい/取り残されている子どもはたくさんいる。全員の権利が守られる社会を

■子どもを取り巻く問題が顕著化しています。様々な施策が推進されているが、省庁、機関、官民、中央と地方等の分断があり、保障されているとは言えない。子どもの権利を保障していくためには、子どもを権利の主体として定め、子どもの権利に関する国の基本方針、理念および子どもの権利保障のための原理原則が定められた基本法、ならびに基本法に基づく権利擁護機関・制度が必要です。(前述川瀬信一さん講演より)

■若手国会議員による子ども行政のあり方勉強会が開かれています。児童養護施設出身者を招いての勉強会では「子どもの意見をきく仕組みづくり」「子どもの意見を丁寧聴いてほしい」との要望や、「子どもの課題の優先順位が上がり予算拡充を期待する」との評価が出されました。虐待、貧困、いじめ、不登校、自殺など子どもに関わる課題の解決にあたっては、そのベースに、子どもがひとりの尊厳をもった人として権利があること、それを保障するのはおとな、社会の責任であるという認識が重要です。

■子ども人権ネットちばは、12年間止まっていた「千葉県子ども条例」づくりを、改めて新知事に働きかけたいきます。各団体・個人・ネットワークを強化し、対話を積極的に行い、千葉県の英知をひとつに結集させ実現していきましょう。



このページの一部は「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」HP等から引用しています。

子どもあーと action の呼びかけによる 「1,000のプラットフォームの実現」

子どもの権利条約第31条の実現に向け、子どもたちにとっての文化権、生活や暮らしの中に、あたりまえに文化や芸術や遊びがあることの大切さを真剣に考える人たちの1,000のつながりを作ることをミッションとしています。改めて皆さんと語り、学び、交流することから始めたいと思っています。千葉県では56のプラットフォームが登録済。既に登録いただいている皆さんはもちろん、そうでない方も、リ・スタートとなる「ミーティング0(ゼロ)」に、ぜひご参加下さい。ミーティングを積み重ねながらプラットフォームを全国に広げていきます。

「子どもがまんなか 池田町教育大綱」

池田町教育長 竹内延彦さんが語る

学校を問い続けた30年

竹内教育長の原点

●「子どもが学校に合わせるんじゃない！学校が子どもに合わせるべき」

●「子どもがまんなか(学習者本位)」。多様性の尊重。自己決定の原則・安心と自由の保障」

●「そして社会(組織)のための人材育成ではなく自分の幸せのために生きる人づくり」

これが30年間教育を問い続けてきた竹内教育長の原点です。

長野県の自然保育との出会い

長野県では半数以上の自治体が豊かな自然と、多様な地域資源を活用して様々な体験活動を、幼児期から取り入れています。2017年度から県内すべての保育園が対象で、信州やまほいく(信州型自然保育)の認定制度があり、225園が認定されています。

幼児期からの重要性

自然保育との出会いによって幼児期の育ちと学びの環境が極めて重要であることに気づきました。幼児期は人生の根っこであり、一人一人が尊重される豊かな環境づくりを大切に、そして幼・保・小・中を切れ目なくつなげることが不可欠で、幼児期からあそび込む・遊び切ることで育ちます。

非認知的スキル (能力) 生きるから

「幼児教育の経済学」ジェームズ・J・ヘックマン (ノーベル経済学者)

認知的スキル (見える知力) **成長**

根っこがなければ育たない

根っこが太く強く張れば張るほど地上の木も太く高く伸びる！

成長を支える人生の根っこ

非認知的スキル (見えない能力)

豊かな土壌

非認知的な能力の獲得はできるだけ早期に、幼児期から！

自己肯定感、創造力、協働力、社会性、規範意識、意欲、主体性、危機管理能力等、**人間力の基礎**とされるもの



2013年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマンは、幼児教育の経済学で「ペリー就学前プロジェクト」の調査データで、乳幼児からの非認知的スキルの獲得こそ、将来「生きる力」になることを明らかにしています。

5/29 子どもNPO・子ども劇場全国センターでの講演記録の抜粋

子どもの力を信じる

幼児期から子どもは自ら育つ！自ら学ぶ！自分の未来を自ら拓く！力があります。自分で考え判断や決定ができる環境を整えるのが大人の役割です。すべての大人がこれらのことを共有して子どもの力を信じることでです。

池田町が願う子どもの姿

妊娠期から3歳まで丁寧な支援をし、保小中を通じて15歳までの学びと育ちに切れ目なくつなげる。15年かけて子ども一人ひとりが意欲のエネルギーを貯め続ける。自然保育の中で成功体験や失敗体験をし、子どもたちが考える時間をつくっていただく。自己決定の経験は

達成感を生み、幸せな気持ちと安心感が持てるようになる。そして自己肯定感が高められ、自信が持てると挑戦するエネルギーが湧いてきます。

【大綱作成中の2019年には、町内の3小中学校最上級生と対話の会を実施し、児童生徒の声を取り入れた。町では説明会を開き、町民の意見も取り入れ、月1回、「町民懇談会」を始めた。町長や中学校校長、PTAなどゲストを招いて対話を行い、また、保護者も教育について学び、小学生の母親たちが月一度の勉強会を開いている。教育行政を自分のこととし、主体的にかかわろうとする地域の大人の機運が高まっている。】(中)は中日新聞掲載記事より

池田町が目指す「子どもがまんなか」教育大綱

■教育大綱とは

教育などに関して自治体が定める総合的な目標や指針の根幹となる方針。地域ごとの教育課題や社会情勢を踏まえて策定される。

■基本理念は～三つの言葉でわかりやすく～

子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり

■運用期間：2019年度～2033年度の15年間

2020年元旦に施行。保(保育園)小(小学校)中(中学校)15年プラン。15年としたのは、子どもの誕生から中学校を卒業する15歳までを俯瞰し子どもの育ちを切れ目なくつなぐことを大切にしたいとの考え。

■池田町教育大綱の要約

学びの主人公は子どもであり、自分を信じて人生を切り拓いてほしい。すべての子どもに公教育は寄り添う。自律した大人を育む人づくりこそが、まちづくりでもある

従来の教育大綱は「清く、正しく」や「知・徳・体」といった言葉を掲げ、大人にとって望ましい人物像に向かって指導する内容が多い。池田町が強調しているのは【子ども一人ひとりに最適な学びと育ちの機会を保障し、環境を整備することに力を尽くします】という、子どものための誓いになっている。

■基本目標を着実に実現するために

大綱には「私たちが心がけること」として、①子どもたち ②保護者は③地域は④園と学校の教職員は ⑤町と教育委員会は と、それぞれの立場での心がけが明記されている。

大綱は、以下のWEBページよりダウンロード

<https://www.ikedamachi.net/cmsfiles/contents/0000000/535/taikou02.pdf>



「憲法25条・文化・背骨」

劇団風の子 代表 大瀬弘幸

4月中旬にNHKから取材の電話が入りました。「5月3日の憲法記念日に25条をもう一度、問いたいです。」憲法25条と言われ、浮かぶことは「健康で文化的な生活」この憲法25条と劇団風の子と子どもたちとコロナ禍、何の関係があるのか、かなり興味深いので取材を受けることにしました。

日本国憲法 第25条 生存権「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」GHQの憲法25条の下書きには当初この文言はありませんでした。この1項を作成し入れるべきだと主張したのは法律の専門家である戦後に国会議員になった鈴木義男氏。その鈴木さんが憲法について解説している文章があります。「人間が動物と違うところは、ただ働いて食べて寝て起きて死ぬということではなく、芸術を楽しむ、社交を楽しむ、読書や修養につとめる、つまり文化を享受し、人格価値を高めるところにある。故に生存権というのは単なる動物的生存ではなくて、人間に値する文化的生存ということである」生きることに精いっぱいな戦後すぐにこの1項を作成し憲法に入れたのです。

私たちはこの憲法もとに生きている、そのことをNHKの取材の中で学びました。子どもたちの文化がこのコロナ禍、激減しています。みんな、行動を制限され、我慢を強いられているように感じます。マスクは常に装着、表情がわからないまま。給食は前向きでしゃべってはいけません。小学3年生以上はコロナ禍前の学校生活を知っているから我慢する。2020年に入学した今の2年生、そして、今の1年生はそれが当たり前になっている。「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」健康であることはとても大事である。同時に文化的な最低限度の生活、子ども時代にどんな文化に出会っているのか、出会ったものでその後の人生が大きく変わっていくと思っています。演劇や芸術という文化はその人を支える「背骨」なのではないかと思っています。NHKの取材は憲法25条の意味を再確認させてもらいました。そして、私たちの回りには子どもの権利条約、文化芸術基本法があります。法律や条約をどうやって生かしていくのか、今問われているように思います。

NPO ではたらく人



穏やかな日が訪れることを願って

NPO 法人松戸子育てさぼーとハーモニー 副理事長

おやこ DE 広場 小金原代表 加藤 教子

NPO 法人松戸子育てさぼーとハーモニーは『一人ひとりを大切に誰もが自分らしく生きられる笑顔いっぱいの社会を目指し、子どもを真ん中に子育て、子育てを応援』している団体です。主に松戸市からの委託を受けおやこ DE 広場（地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、一時預かり事業）やこども館を運営しています。

現在では、コロナウィルス感染の影響を受け、予約制、人数制限、消毒や換気など感染対策を行いながら運営しています。そんな中、私たちは今だから『出来ること』を考え活動しています。コロナ禍で始めたことはオンラインひろばや相談、SNSでの発信です。子育て中の不安や孤立に寄り添うことを意識し、つながりを伝える手段として試行錯誤しながらすすめています。オンラインひろばでは、おしゃべり会やわらべうた、手遊び、リズムあそび、小児科医の講座や幼稚園座談会など多様なプログラムで企画しています。子育て親子の交流が難しくなっている今、リアルとオンラインを使い分け、ふれあいや心の動く体験、経験をより多くの親子に伝えていきたいと思っています。

昨年、子ども劇場千葉県センターさんから、WAM 助成事業のお話をいただき、ひろばでわらべうたのワークショップを行いました。小さな手や足を動かして、クリクリの目で追いかけて…参加親子の目と目を合わせ、微笑む姿がとても印象的でした。人数に限りがありましたが、親子のかかわりの大切さをひろげていく機会となりました。今年度も温かな時間になることを期待しています。

ハーモニーはひろばやこども館の環境が大事だと考えています。乳幼児親子が安心して過ごせる場はもちろん、子どもたちの発想や発見を大切にしながら、主体的に遊べる場づくりにこだわっています。子どもの『やりたい気持ち』をとことん応援していきたいと考えています。体験、経験する機会が少なくなっている今だからこそ、あそびの中から自由に感情を膨らませられ、人と人がつながれる場が必要です。私自身も子育て親子に寄り添う環境のひとつになればと思っています。

まだ、先の見えない状況ではありますが、早く穏やかな日が訪れることを願っています。

みんなあつまれ！～お買い物にいこう！母の日企画～

特定非営利活動法人 市川子ども文化ステーション

日にち 2021年5月9日(日)

場所 行徳駅前公園研修室～「花の園なかがわ」

参加者 幼児6人・小学生22人 大人(見守り隊、スタッフ他)27人(うちパパ6人)



はじめてのおつかい、やってみたい！

4月の低学年運営委員会、新人さんが入り、新鮮な気分。議題に入る前に「子どもにどんな体験をさせたい?」「どんな風に育てて欲しい?」「自分自身のやってみたいことは?」を出し合いました。

そこで多く出たのは「地域の人とふれあう」「いろいろな人と関わる」こと。そして新一年生のママが「初めてのおつかい、させてみたいな。」小学生になって子どもだけで行動することが増えるのがちょっと心配。でも自分で考えて行動して欲しい。困ったら人の助けを借りられることも知って欲しい。

なるほど、子どもたちにさせたい経験のいろんな要素が入っている。「それいいね!!やろうよ!!」いつも集まる駅前公園の隣に花屋さん、当日は母の日。早速花屋さんにお問い合わせすると人数分のカーネーションを用意してくれることになりました。

子どもペアでお買い物、公園の隣とはいえ何が起こるか(しでかすか)わからない、見守りが必要。母の日企画なら当然パパに活躍してもらいましょう、と見守り隊を募り配置を決めて万全の準備。いや、説明通りのルートを通らない子も絶対いるはず、失敗してもOKでも安全策は必要、とルートを外れたペアには尾行する段取りも。



▲ドキドキしながらおサイフ確認中

ドキドキしたけど、お花かえたよ！ママまってね

迎えた当日。公園の研修室に集まりこれからの予定や注意を聞いて、年少さんは「パパ一緒に行かないの?」と不安そう。5分毎にペアでおサイフの中を確認したり、注意を思い出したりしてから出発。

逆方向に行くペア多数。尾行が忙しい!!途中で間違いに気づき「知ってる人いたから道聞いた」と言うペア(あなた方を尾行してました)。途中でカーネーションが折れちゃった子。見守り隊のパパに道を確認して安心した顔をしたペア。寄り道したペア。「近道」と公園の中を通ったペア(帰りも同じ道で帰るというお約束は守って公園の中を帰ってきた)。



▲「母の日のお花を買いに来ました！」

それでもお花さんが混んでいる時は静かに順番を待ち、ちゃんとお挨拶も出来た様子。

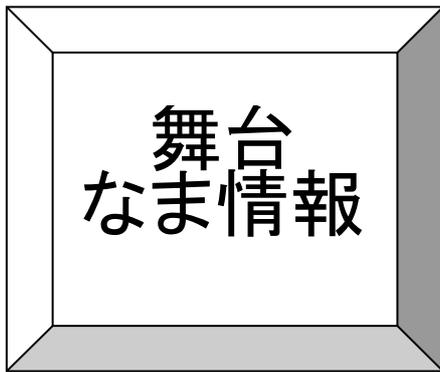
行きはみんな緊張した顔(大きい子と小さい子がペアだったので、大きい子もドキドキ顔)。でも帰りはお花を持って自信に溢れた表情。ペアの雰囲気もずいぶん変化していました。見守り隊のパパたちも子どもたちの表情の変化が楽しかったそう。目が潤んでいたパパも…

お花さんは「小さい子がたくさん来てびっくりしました。忙しくて丁寧な対応できなくて」とおっしゃいましたが、忙しい日にもかかわらず子どもたちに温かく接していただき感謝です。順番待ちの間に作ったメッセージカードもそれぞれ満足のできばえで、すてきな母の日になりました。

市川子ども文化ステーション行徳地区
事務局 濱 美幸

編集後記: まだまだ続くコロナ禍での日々の生活。子どもたちの世界のあちこちで、ひずみとしわ寄せが生じていることは、多様な場面で感じます。基本的な人権、子どもの権利条約を踏まえて、私たちは子どもの声を聴いているのか、社会が子どもの育ちに危機感と誠意をもって向き合っているかと、考えることも増えました。文化芸術の持つ、人の感性や自分を知ることや育む力、体験や自己表現が、子どもの育ちに如何に必要なことかをより多くの人に伝え、今年度も県内様々な場で育つ子どもたちに、良質の心躍る文化芸術体験を届けていきます。





- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第97号別冊 <2021年8月～11月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団風の子	ないしょないしょのしっぽがぼん	9/11	12:30/15:00	千葉市民会館小ホール	千葉中央・北	幼児と大人
◇ 劇団オーサムショー	The Awesome Hour	9/23	15:00	四街道文化センター301.302	四街道	幼児～大人
◇ アフタフ・バーバン	ぐうちよっぼっ劇場～あおむしくんのぼうけん	9/23	14:00	根形公民館	袖ヶ浦	0～5歳の親子
◇ 劇団風の子	黄金の実	9/26	13:00/15:00	新習志野公民館	ならしの	3歳～小3

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団むすび座	オズのまほうつかい	8/21	13:30	習志野文化ホール	ならしの	3歳～大人
☆ 人形劇団望ノ社	Shadow Kingdom 影の王国	9/23	未定	千葉市民会館小ホール	千葉北・中央	小学生～大人
☆ 人形劇団ひとみ座	はれときどきぶた	10/24	未定	未定	成田	3歳～小3
☆ 人形劇団ブーク	死神	10/30	18:30予定	千葉県教育会館ホール	千葉中央・北	小4～大人

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ ビタシカオフィス	BBモフラン たいこではなそう	9/20	13:30/17:00	もりんぴあこうづ	成田	3歳～大人
♪ X-jam	シモシュとあそぼ！音であそぼ！	10/31	11:00	わろうびんぐホール	四街道	幼児

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ ひとまい他	るつぼ	8/6	18:15	全日警ホール	市川北	小1～大人
◎ 田楽座	おまつり福袋	10/10	15:00	本埜(もとの)公民館	いんざい	3歳～大人
◎ パントマイムプラネット	チカパンのいっしょにパントTIME！	11/3	未定	行徳文化ホールI&I予定	市川行徳	低学年
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブ	11/12	18:00	船橋市民文化創造館きららホール	船橋	中学生～大人
◎ ワールドアサンテファミリー倶楽部	笑福亭鶴笑の爆笑寄席	11/23	15:30	八千代市市民会館小ホール	八千代	小1～大人

きらきらわくわく情報

2021年8月～11月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ 子ども一ふの絵本箱 わっくぶっく	8/4,9/1.15,10/6.20,11/17	子ども一ふ袖ヶ浦事務所	袖ヶ浦	乳幼児の活動
▪ 乳幼児おやこサークルぴよんぴよんキッズ	8/19,9/2.30,10/14,28,11/4.18	信篤公民館	市川中央	
▪ 乳幼児活動 ZOOMであしあとくらぶ	8/19,9/30,10/28,11/25	オンライン	いんざい	
▪ おやこふれあい遊びアクティブキッズ	8/26,9/9.30,10/14.21	穴川コミュニティセンター	千葉北	
▪ 幼児サークル ぶらんこ	9/2.16,10/7.21	流山市内公園、広場等	流山	
▪ 乳幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいスペース	9/2.16,10/7	小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ おやこリズム体操	9/2.16,10/7.28,11/4.18	千葉市子ども交流館アリーナ	千葉中央	
▪ 絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1歳～)	9/7,10/5,11/2	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ おやこサークル クレヨンクラブ	9/7.16.28,10/12.26,11/9.30	行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	9/7.28,10/5.19,11/2.16	白井市内公園等	白井	
▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば(0歳～)	9/9,10/14,11/11	鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	9/9,10/14,11/11	神納コミュニティセンター他	袖ヶ浦	
▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1歳～)	9/10.24,10/8.22,11/12.26	信篤公民館	市川中央	
▪ 人形劇団ふわふわ公演「ふわふわ劇場」(クレヨンクラブ対象)	9/16	行徳駅前公園研修室予定	市川行徳	
▪ 親子で一緒に紙遊び「ぴりぴりくるくるぼーんぼん」	10/21	千葉市文化センタースタジオ1	千葉中央	
▪ はじめてままのYOGA	10/23,11/13	八千代市市民会館	八千代	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ 秋の森たんけん他	10/24	香澄公園	ならしの	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ 劇遊び	11/28	習志野市内公民館	ならしの	
▪ 子育て広場 はっばのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ 夏の交流会	8/9～11	富士吉田青年の家	ならしの	
▪ 子どもキャンプ	8/10	奥養老ヴィレッジ	成田	
▪ 高学年キャンプ	8/14～16	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳	
▪ 大納涼祭	8/21	小見川青少年自然の家	船橋	
▪ 北崎くんと「スマホ」を語る会	8/1	流山市生涯学習センターA101～103	流山	講演会・学習会 ワークショップ
▪ 「森は生きている」手話うたワークショップ	9/5,10/2,11/6,12/5	千葉市中央コミュニティセンター予定	千葉中央	
▪ 子どものことばと子育てトークの会	9/7,10/5	みんなのおうち(流山おやこ劇場事務所)	流山	
▪ 鑑賞ワーク 稲荷お面を作ってみよう	9月後半	印西市内公民館	いんざい	
▪ 人形劇団ののはなワークショップ	10/16	南流山センター	流山	
▪ 人形劇団ののはなワークショップ	10/23	船橋市内公民館	船橋	
▪ 「森は生きている」演劇ワークショップ	10/24	千葉市美術館ワークショップルーム	千葉中央	

いろいろ
体験活動

活動	日程	場所	主催団体
▪ 放課後子ども教室 ホタルとセミの夕べ	8/1	旭公民館・旭ヶ丘谷津田周辺	四街道
▪ 北崎くんとあそぼの会	8/2	流山市生涯学習センターA101～103	流山
▪ ミニ夏祭り	8/4	白井市内公園	白井
▪ 夏のこどもじかん	8/5.10.20.28	みんなのおうち(流山おやこ劇場事務所)	流山
▪ おやこキャンプ	8/7～9	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
▪ 遊んで食べて感じる わくわくキャンプ	8/8～10	奥多摩中茶屋キャンプ場	市川中央
▪ わんぱく広場	8/21	東海面公園	市川行徳
▪ デイキャンプ	8/21	浦安市少年の広場	浦安
▪ 月例自然遊び体験 わくわく実験	8/22	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
▪ 木のおもちゃ作り	8/22	あすみが丘プラザ工作室	緑区
▪ 青年とあそぼう！	8/22,9/19,10/17,11/21	四街道こどもネットワーク事務所	四街道
▪ みんなあつまれ！夕涼み会	8/27	行徳駅前公園	市川行徳
▪ 真夏の夜のウォークラリー	8月	成田市内	成田
▪ 幼児から大人まで夏のデイキャンプ	9/4	船橋市立大神保青少年キャンプ場	船橋
▪ 親子で里山文化まるごと体験 稲刈り	9/4もしくは9/11	印西市本笠竜腹寺地区の谷津	いんざい
▪ アフターデイキャンプ@清水公園	9/5	野田市清水公園予定	市川中央
▪ 秋のガキ森デイキャンプ	9/12	ガキ大将の森キャンプ場	八千代
▪ お月見どろぼう	9/23	八千代市市民会館	八千代
▪ 月例自然遊び体験 木アート	9/26	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
▪ ドキドキ科学ワールド	9/26	誉田公民館会議室	緑区
▪ 子どもがつくるまち ミニいちかわ2021	10/16～17	行徳駅前公園	市川行徳
▪ ピザがまの森でデイキャンプ	10/23か10/24	印西市内ピザがまの森(私有地)	いんざい
▪ ガキ大将の森であそぼう	10/24	ガキ大将の森キャンプ場	八千代
▪ 月例自然遊び体験 おばけにな～れ	10/24	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
▪ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ2021	10/30～31	大洲防災公園	市川中央
▪ ハロウィーン	10/31	白井市内公園等	白井
▪ 親子で一緒にToyドローン体験	10月	富里市内	成田
▪ 子どもがつくる子どものまち ならしのこまち	11/7	谷津奏の杜公園予定	ならしの
▪ 忍者ごっこ	11/13	未定	成田
▪ 月例自然遊び体験 ウォークラリー	11/28	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	毎週水・金	四街道四区集会所	四街道
▪ みんなあつまれ！ハロウィン	未定	行徳駅前公園研修室予定	市川行徳
▪ お月見会	未定	白井市内公園	白井

子どもと文化 イベント情報

◆ 放課後子ども教室 ホテルとセミの夕べ

8月1日(日) 18:00~20:30
 場所：四街道市旭公民館・旭ヶ丘谷津田周辺
 対象：小学4~6年生 /参加費：500円
 (コロナ対策で参加は20名まで)
 主催/(特)四街道子どもネットワーク
 Tel.043-423-5381

◆ 北崎くんとあそぼの会

あそびを侮ることなかれ！あそびは自己決定の連続、
 子どもは主体的に生きる土台を作っています。
 アフタフ・バーバンの北崎圭太さんとあそびます。
 8月2日(月) 14:00~16:00
 場所：流山市生涯学習センターA101~103会議室
 対象：小学生から大人まで
 参加費：小、中学生1,000円、高校生以上500円
 主催/(特)流山おやこ劇場
 Tel.04-7161-3032

◆ 鑑賞会「るつぼ・RUTSUBO」

ダンス・落語・クラリネット五重奏と
 盛りだくさん。みんな、るつぼれ～！
 ひとまい、じゃじゃ馬亭ガリ子、荒川銀龍会出演。
 8月6日(金) 18:15開演
 場所：全日警ホール 対象：小1~大人
 大人1,500円 大人ペア2,500円 子ども500円
 主催/(特)市川子ども文化ステーション北地区
 Tel.047-339-7744

◆ わくわくキャンプ

子ども実行委員の企画、沢登り、マツつかみ、
 野外炊事など、ひとつの大きな家族のように過ごします。
 8月8日(日)~10日(火)
 場所：奥多摩中茶屋キャンプ場
 対象：幼児親子、小学生親子、中学生、青年、大人
 参加費：4~6歳児8,000円、小中高生9,000円
 大人18,000円(予定)
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ アフターデイキャンプ@清水公園

野外炊事やアスレチックに挑戦。
 9月5日(日)/野田市清水公園
 対象：幼児親子、小学生親子、中学生、青年、大人
 参加費：未定
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ わんぱく広場

自分の責任で自由に遊ぶプレーパーク。
 ロープ遊び、水遊び、どろんこ遊び、昔遊び、
 革細工など。天候などにより内容の変更あり。
 8月21日(土) 予備日22日 10:00~15:00
 場所：東海面公園/対象：どなたでも
 参加費：無料
 主催/市川わんぱく広場実行委員会
 Tel.047-395-7670

◆ 人形劇鑑賞会

「オズのまほうつかい」
 人形劇回むすび座。夢を持つこと、
 仲間とともに苦難を乗り越えることなど、
 子どもたちに届けたい。三世代でご参加ください。
 ならし子ども劇場創立40周年記念。
 8月21日(土) 13:00開場 13:30開演
 場所：習志野文化ホール
 対象：3歳~大人
 参加費：子ども1,500円 大人2,000円
 主催/(特)ならし子ども劇場
 Tel.047-451-3676

◆ 稲刈り体験

~親子で里山文化まるごと体験~
 田おこし、田植えを体験しお米づくり。いよいよ収穫。
 9月4日もしくは11日(土)①9:30~②13:30~
 場所：印西市本荻菴腹寺地区の谷津
 対象：5歳~大人
 参加費：親子(子1人、大人1人)2,000円/組
 追加家族ひとり500円
 主催/(特)いんざい子ども劇場
 Tel.0476-46-6287

◆ 人形劇鑑賞会「河の童(わっぱ)」

デフ・パペットシアター・ひとみ
 異なる世界に生きている河童と人間に焦点を
 あて「共にいけるとは」その本質に迫ります。
 9月23日(木祝) 13:15開場 14:00開演
 佐倉市民音楽ホール 全席自由席
 ひとり親家庭ご招待 先着10組。
 対象：4歳~大人
 保育あり1人1,000円(申し込み9/9まで)
 参加費(当日500円増)：大人2,000円、
 子ども1,000円、障がい者1,000円
 主催/こどものあしたプロジェクト
 Tel.070-5650-0455(守田)
 mail:cfpsakura@gmail.com

◆ 0.1.2歳が出会う初めての舞台

「ぐうちよっぱっ劇場~あおむし
 くのぼうけん~」アフタフ・バーバン
 9月23日(木祝) 14:00~15:00
 場所：袖ヶ浦市根形公民館
 対象：0~5歳の親子
 参加費：大人1,000円 子ども500円
 主催/(特)子どもるーぶ袖ヶ浦
 Tel.0438-63-2850

◆ 子どもがつくるまち ミニいちかわ2021

7/4から小4以上の子どもスタッフが会議を重ね、
 どんなまちにするか話し合っています。
 高校生以上のボランティアも募集しています。
 10月16日(土)17日(日) 10:00~15:00
 場所：行徳駅前公園
 対象：小1~18歳 事前申し込み
 参加費：一日300円
 主催/(特)市川子ども文化ステーション
 Tel.047-395-7670

◆ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ2021

10月30日(土)31日(日)
 場所：大洲防災公園/対象：小1~18歳
 材料費：一日500円
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ 「松元ヒロ・ソロライブ」

11月12日(金) 18:00開演予定
 場所：船橋市民文化創造館きららホール
 対象：中学生~大人 /参加費2,500円
 (コロナ対策で130席限定)
 主催/(特)船橋子ども劇場
 Tel.Fax.047-424-0851

◆ 舞台劇鑑賞会

「ソノヒカギリ美術館」劇団風の子
 11月14日(日)時間未定
 場所：千葉市美術館ワークショップルーム
 対象：幼児~大人/参加費：親子3,000円予定
 協力/(特)千葉中央おやこ劇場
 主催/劇団風の子042-652-1001

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
 ※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
 各主催団体をお願いします。

団体名	Tel.
千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧	
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851
● NPO法人 ならし子ども劇場	047-451-3676
● 白井子ども劇場	047-491-2163
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287
● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387

団体名	Tel.
● みはま舞台芸術を楽しむ会~子どもから大人まで~	080-1138-1635
● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● 千葉北おやこみるあそび会	043-250-4120
● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-377-8490
● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 四街道子どもネットワーク	043-423-5381
● やちまたおやこ劇場	043-442-0084
● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262